

倉敷天文臺創立八周年記念式報告

水 野 千 里

倉敷天文臺の創立されたのは、去る大正十五年十一月二十一日であつたから、毎年十一月に記念式を行つて居る。最も一昨年十二月二十日に月が金星、土星を掩蔽したので、其の觀測をした翌二十一日に行はれた。

昨年は十一月二十四日十三時から、創立八周年記念式が倉敷商業學校講堂で舉行された。

間野校長の開會の辭に次いで、原名譽臺長式辭を述べ、去る六月三日高松宮、同妃兩殿下が天文臺に御成遊ばされたこと、殊に御内意があつての行啓であつたといふことは無上の光榮とすべきであると述べられ、其の他二三の所感を以て式辭とせられ、水野主事は過去一ヶ年の報告をなし、毎月第一、第三土曜日の夜分を公開日とする外に、陰曆七月七に日七夕祭りをなし、又中秋觀月會を一ヶ年の行事となす様になり、八月十六日の七夕祭りには、七夕星の話の水野主事が語り、荒木臺員は望遠鏡による觀望を指導し、好晴に恵まれ五六十名の來會者があつて近來にない盛會であつた。又九月二十三日は觀月會を行つたが、二十一日の大風水災後の事として講演を廢し、只、名月を賞した。八月十八日から二十日迄第四回天文學講習會が催され、山本博士は「初等天文學一般」水野主事は「星色の知識」に就いて講じ、荒木臺員は天體觀望を指導した。十月十三日から四日間に互り山本博士、稻葉理學士、公文氏は倉敷天文臺の經緯度の再測定をされ、暫定的結果、經度東經8時55分4.96秒、北緯34°35'33".3と發表された。昨年十一月から本年十月迄の參觀人は7231名、この數には公開日に於ける參觀人を除いたものであるが、春季家庭博覽會が倉敷市内で開催された爲めに、平年よりは參觀人が多かつたのである。

引續き山本博士は「經緯度測定と天文學」と題し、趣味と實益に富める講演を試みられ、大なる感興を惹き、天文幻燈は來會者に喜ばれた。

夜分は天文臺が公開された。